

## 「建設技術フォーラム 2021in ちゅうごく」実施方針について

### 1) 開催日程

○開催日時

令和3年11月18日(木)、19日(金)

○会場

【基調講演等】のみ、スタジオ会場設定(合同庁舎内災対室又は会議室を予定)  
アーカイブとして、一定期間、動画配信

○主催

建設技術フォーラム実行委員会

### 2) テーマ 令和3年度 テーマ(案)

「防災・減災、国土強靱化とインフラDX」

～地域を守り、未来を創る建設技術～

(参考：5ヶ年加速化対策)

<防災・減災、国土強靱化のため、重点的に取り組む対策>

- 激甚化する風水害や切迫する大規模地震等への対策
- 予防保全型インフラメンテナンスへの転換に向けた老朽化対策
- 国土強靱化に関する施策を効率的に進めるためのデジタル化等の推進

(参考：過去のテーマ)

- R元 「安全・安心で豊かな地域づくりを支える建設技術」  
防災・減災対策、老朽化対策の取り組み、ICTを活用した新技術
- H30 「安全・安心で豊かな地域づくりを支える建設技術」  
～『i-Construction』の進展と新技術で取り組む地域の防災・減災対策、  
老朽化対策～
- H29 「地域づくりを支える建設技術」 ～ひろがる『i-Construction』～
- H28 「地域づくりを支える建設技術」 ～動きはじめた『i-Construction』～
- H24～H27 「地域づくりを支える建設技術」

### 3) 出展関係

○展示ブース、セミナー発表、基調講演等

①各企業 オンライン展示、オンラインセミナー

出展者、商品情報等について、動画、画像、テキスト資料等を掲載、セミナー動画

## ②オンライン学生交流会

建設業界の担い手確保を目的として、中国5県の工学系の学校を対象に各団体による業務紹介やDX関連事業のプレゼンテーションを実施。また、オンライン機能による質疑応答を実施。

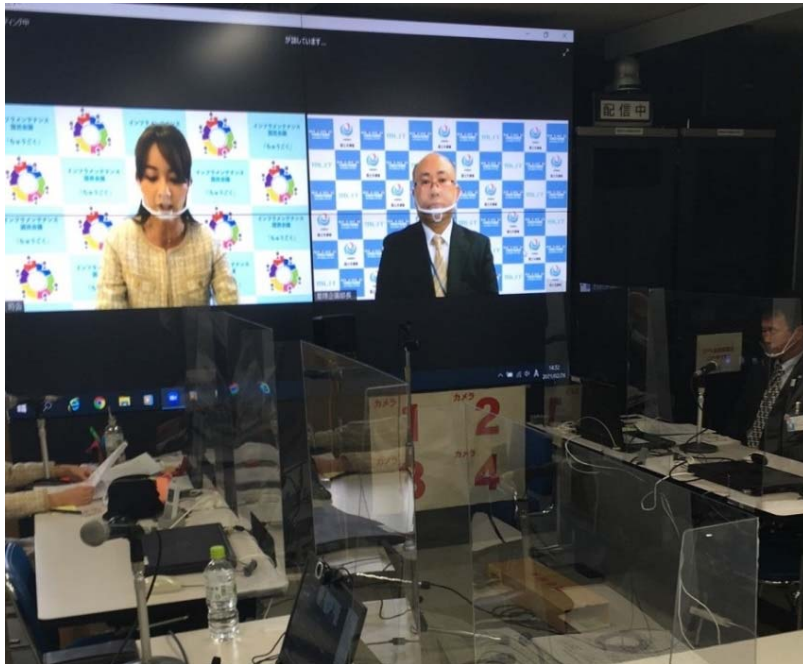
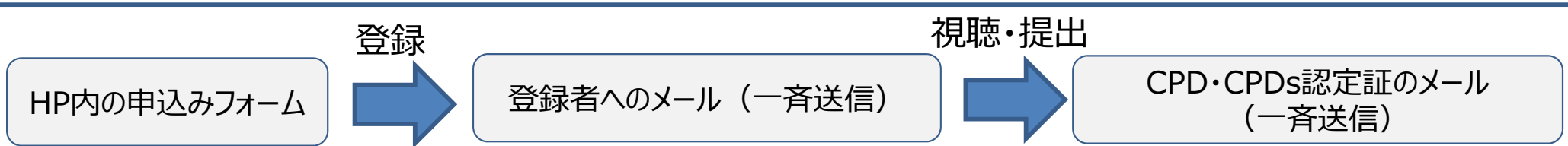
## ③基調講演・パネルディスカッション（第1日目）

Live 配信を実施（ZOOM）。CPD、CPDs 認定とし聴講者を広く募集。

- 1) 特別講演 ※ 防災・減災・国土強靱化、DX  
「国土強靱化とインフラDX（仮）」 30分  
講師：西山 哲（岡山大学大学院教授）
  
- 2) 基調講演 ※ インフラメンテナンス  
「橋梁トリアージによる持続可能なインフラ管理マネジメント（仮）」  
講師：植野 芳彦（富山市政策参与） 30分
  
- 3) パネルディスカッション ※ インフラメンテナンス関係  
テーマ：地方自治体におけるインフラメンテナンスの未来とインフラDX（仮）  
コーディネーター：藤井 堅（広島大学名誉教授）  
パネリスト：
  - ・基調講演でご登壇頂いた講師（富山市植野政策参与） 先進的取組の視点
  - ・呉市（吉本土木部長） 自治体の立場
  - ・周南市「橋守隊」（今井代表） NPO等市民活動の視点
  - ・西日本エンジニアリング 民間企業の立場、視点
  - ・国土交通省（清水道路メンテナンス企画室長） 国の立場、自治体支援の視点

# 挨拶・講演・パネルディスカッション

- 挨拶・講演・パネルディスカッションについては、スタジオ会場を設定（合同庁舎内災対室又は会議室を予定）実施する事で、広島市外からのリモート出演も可能
- 事前登録制のZOOMウェビナー（上限1000人までを想定）を使用、参加証明のログが残るのでリアルタイムで視聴された方がレポート（200文字程度）を後日提出する事でCPD・CPDsの発行を登録予定  
※上記レポートには、出展者ページの閲覧履歴及び感想もあわせて提出を想定 ⇒出展者へ情報提供
- 録画した映像は、後日、建設技術フォーラム2021ホームページに掲載し、視聴できなかった方へ公開する
- リモートで出演される方は、スムーズな進行を行うために事前にテストを実施（画面共有や動画・音声の確認など）



(例) 「インフラマネジメントシンポジウム2020」令和3年2月（参加者約260名）

# セミナー

- セミナーについては、発表者がパワーポイントに音声吹き込み動画にしたものを上限30分1GB等、規定を設けて事前に送付いただき、投稿形式でホームページへ掲載する。（開催日から令和4年3月まで）

(例)「第1回技術講習会：中国建設弘済会」令和3年6月

## インフラ分野のDX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進

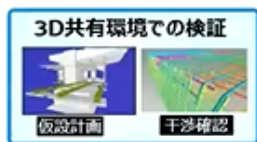
国土交通省

- 新型コロナウイルス感染症対策を契機とした非接触・リモート型の働き方への転換と抜本的な生産性や安全性向上を図るため、5G等基幹テクノロジーを活用したインフラ分野のDXを強力に推進。
- インフラのデジタル化を進め、2023年度までに小規模なものを除く全ての公共工事について、BIM/CIM※活用への転換を実現。**
- 現場、研究所と連携した推進体制を構築し、DX推進のための環境整備や実験フィールド整備等を行い、3次元データ等を活用した新技術の開発や導入促進、これらを活用する人材育成を実施。

※BIM/CIM(Building/Construction Information Modeling, Management)

※パワーポイントに音声を吹き込んだ動画

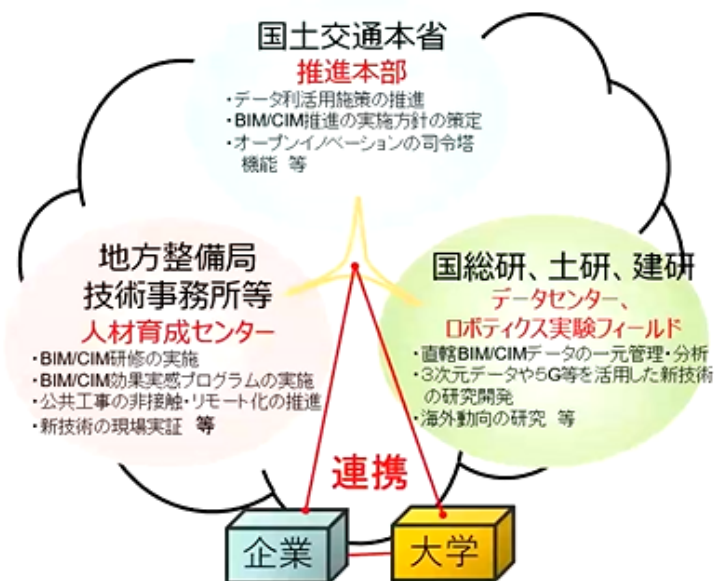
公共事業を「現場・実地」から「非接触・リモート」に転換  
・発注者・受注者間のやりとりを「非接触・リモート」方式に転換するためのICT環境を整備



インフラのデジタル化推進とBIM/CIM活用への転換  
・対象とする構造物等の形状を3次元で表現した「3次元モデル」と「属性情報」等を組み合わせたBIM/CIMモデルの活用拡大



インフラDXを推進する体制の整備



5G等を活用した無人化施工技術開発の加速化  
・実験フィールド、現場との連携のもと、無人化施工技術の高度化のための技術開発・研究を加速化



リアルデータを活用した技術開発  
・熟練技能労働者の動きのリアルデータ取得し、民間と連携し、省人化・高技術を開発



<動画の時間目安>YouTube参考  
360P 中画質 3~4時間 1G  
※スマホでキレイに見れるレベル

720P HD画質 1時間 1G  
※テレビでもキレイに見れるレベル

# 出展者ページ

- 各テーマ、協会などに分類したページから、出展者各々のページへリンクし、技術展示を閲覧
- ページのデザイン(配置パターン)は原則すべて同じとする（色などでゾーンやテーマを分類）
- 11月18日、19日及び開催後（R4.3まで）の各出展者ページへのアクセス数を各出展者へ情報提供

## ■出展者ページのイメージ



- ①全体のホームページ容量から1ページあたりの容量を設定（1Gを想定）
- ②各ページの統一性を図るため、説明文、写真・動画、PDF資料等を出展者へ依頼（点数は1ページあたりの容量に応じて調整）
- ③展示内容の修正方法は要検討（修正1回まで無料など）
- ④チャット機能（開催日2日間のみ）の搭載を想定（出展者に要・不必要を回答、希望制とする）
- ⑤④のチャット機能は文字のみのため、開催日において個別でのセミナー開催可能な出展者は時間、URLなどのリンクを掲載も可能（ZOOM、スカイプほか）

＜動画の時間目安＞YouTube参考  
360P 中画質 3～4時間 1G  
※スマホでキレイに見れるレベル

720P HD画質 1時間 1G  
※テレビでもキレイに見れるレベル

# 学生交流会

- ZOOMウェビナー（1000名）を使用して、1社あたり25分など時間を設定し、オンライン機能を使用して業務などに関する説明会を実施（スタジオからの配信。発表者はリモートで説明。）



司会者（配信スタジオ）

## ■ 学生交流会 オンラインイメージ

ZOOM  
ウェビナー



発表者（リモート）

## 説明スケジュール（映画館方式）

11月19日 (金)	13:00~13:25	(株)〇〇建設(〇〇協会から)
	13:30~13:55	(株)××組(〇〇協会から)
	14:00~14:25	〇〇建設工業(株)(〇〇協会から)
	14:30~14:55	(株)〇〇建設コンサルタント (〇〇協会から)
	.....	.....



学生等（学校・個人ほか）